

第1学年 給食の時間 学習指導案

1. 題材 手をきれいにあらおう

2. 指導にあたって

給食時間の児童の手洗いを見ていると、水道の蛇口に手を添え、水をかけて流しているだけの児童や、洗っていても手のひらだけなど十分な手洗いができていない児童が見受けられる。“バイキン(カンピロバクター、ノロウイルス、サルモネラ、黄色ブドウ球菌、O-157などの食中毒菌やインフルエンザウイルスなど)”を付けたままの手で食事をすると、手に付いた病原体を口から体内に入れてしまうことになる。それが原因で胃や腸が痛くなったり、病気になってしまう場合もあることに気付かせたい。正しい手洗いをするすることで、手に付いた汚れやバイキンを洗い落とすことができる。絵を使って手洗いの大切さをわかりやすく理解させ、自分の健康を守るために丁寧な手洗いを習慣化する意欲を持たせられるように指導したい。

3. 食育の視点

手洗いの必要性を理解し、正しい手洗いができる。(心身の健康)

4. 指導計画(全1時間10分)

第1次 手をきれいにあらおう 10分(本時)

第2次 手をきれいにあらおう 1時間(特別活動)

5. 本時のねらい

○健康に過ごすため、手をきれいに洗うことが必要性であることを理解することができる。(知識及び技能)

○手をきれいに洗うことの必要性について考え、丁寧な手洗いをするすることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

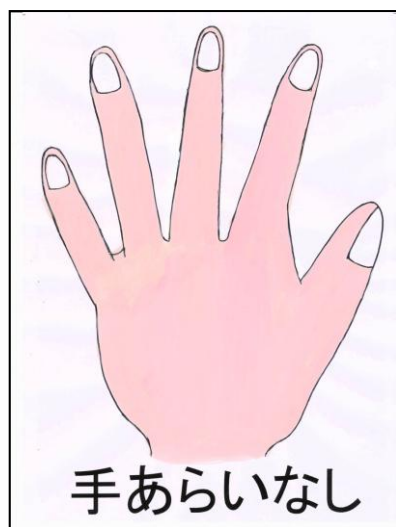
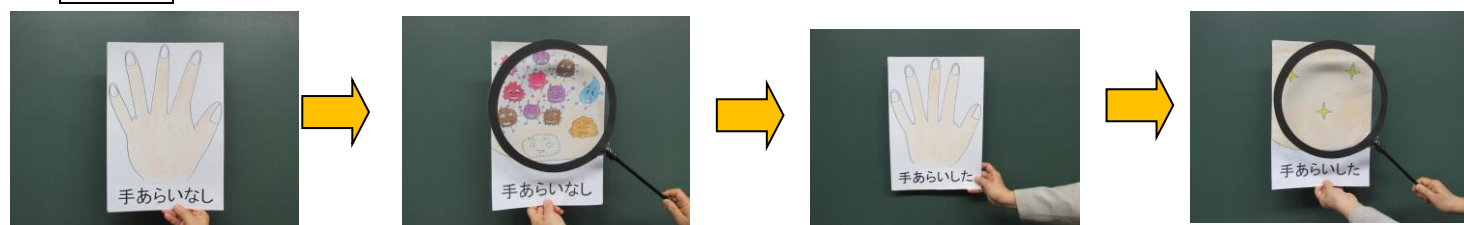
6. 本時の活動

学習内容と活動	指導上の留意点 評価(◆)	資料
1.手洗いの必要性について考える。	○食事の前の手洗いについて考えるようにする。	手洗いをしていない手(絵)
2.運動場で遊んだり、トイレの後などの手の汚れを考える。	○運動場で遊んだり、トイレの後など手が汚れている事を知らせる。	バイキンが見える虫眼鏡
3.汚れのついた手で食べたら手についたバイキンが口から入ってしまい、体の中に入ったバイキンでお腹が痛くなったりする事を考える。	○手の汚れが見えなくてもバイキンが手にたくさんついている事を実感させるために「手洗いをしていない手の絵」に「バイキンが見える虫眼鏡」をあてて「バイキンやほこり、あせ、土などが手に一杯ついている絵」を提示する。	手洗いをしないで、バイキンやほこり、あせ、土などが手に一杯ついている手の絵
4.綺麗な手にするための手を洗う場所を考える。 『手洗いの歌』を歌う。	○汚れのついた手で食べたら手についたバイキンが口から入ってしまい、体の中に入ったバイキンでお腹が痛くなったりする事を知らせる。	食べ物の絵
	○手洗い後の手はバイキンがついていない事に気づかせるために「バイキンがみえる虫眼鏡」をあてて見せる。	食べ物を手で食べている絵
	○綺麗な手にするための手の洗い方を手洗いの絵で知らせる。	お腹が痛い、もどす、くだす、ねつがでる子どもの絵
	ハッピーバスデートゥユーの替え歌で手洗いの順番が覚えられることを知らせて、全員で歌う。	手洗いをした後のきれいな手の絵
5.まとめと振り返りをする。	◆健康に過ごすため、手をきれいに洗うことが必要性であることを理解している。(知識・技能)	手洗いの順番の絵
	○手指が綺麗になる手洗いをするように付け加える。	ハンカチで手をふく絵 きれいな手の絵

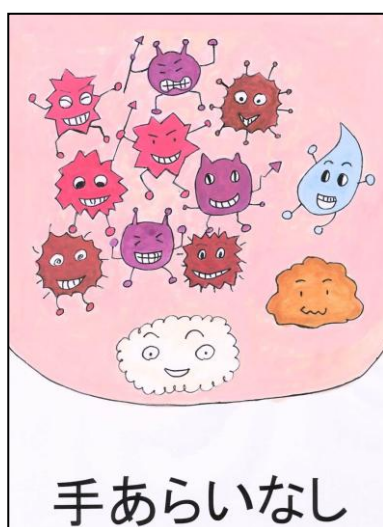
7. 板書計画



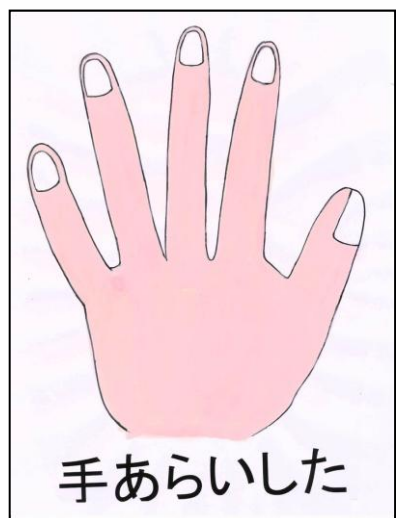
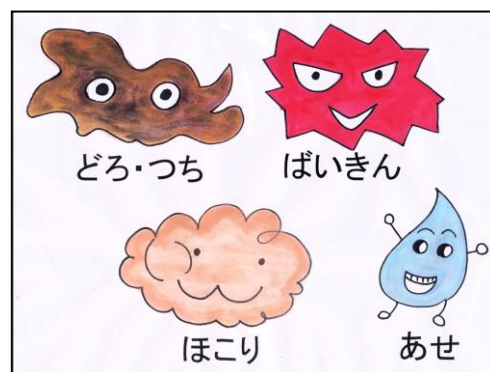
指導資料 (印刷はパワーポイント資料より可能)



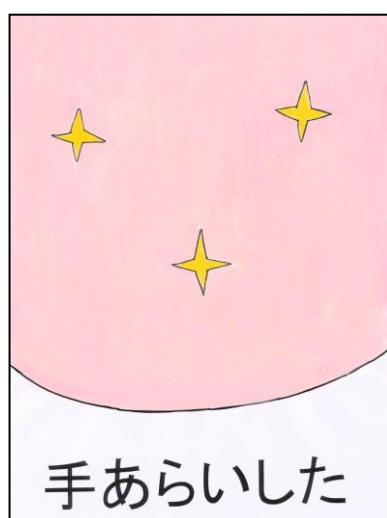
ページサート(表)



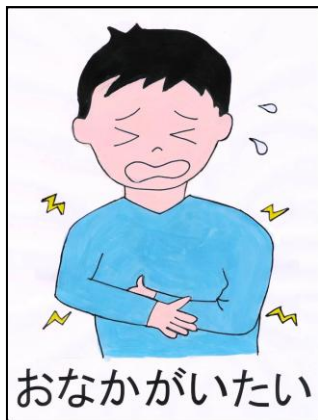
ページサート(裏)



ページサート(表)



ページサート(裏)



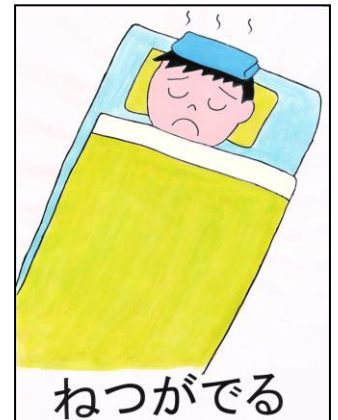
おなかがいたい



もどす



おなかをくだす



ねつがでる





みずでしっかり
あらいます



きれいなハンカチで
てをふきます

